

# プログラム (神経学会)

神経学会の演題は、「A-○」という演題番号です。

合同セッションの演題は、「合同-○」という演題番号です。

セッション1 脱髄

8:35-9:15

座長：岡田和将（産業医科大学）

A-1. 急性リンパ性白血病に対する臍帯血移植後に MOG 抗体関連疾患を発症した一例

(1) 国立病院機構長崎医療センター 脳神経内科、(2) 同 血液内科

宇佐俊哉<sup>(1)</sup>、忽那史也<sup>(1)</sup>、榑智佳<sup>(2)</sup>、足利裕哉<sup>(1)</sup>、佐藤和明<sup>(1)</sup>、徳田昌紘<sup>(1)</sup>、岩永洋<sup>(1)</sup>

A-2. 繰り返す血球貪食症候群に CLIPPERS 様の中枢神経病変を合併した一例

(1) 佐賀県医療センター好生館 脳神経内科、(2) 同 血液内科、(3) 聖マリア病院

盛満真人<sup>(1)</sup>、江里口誠<sup>(1)</sup>、後藤悠太<sup>(1)</sup>、川浪建<sup>(1)</sup>、吉本五一<sup>(2)</sup>、杉田保雄<sup>(3)</sup>、高島洋<sup>(1)</sup>

A-3. COVID19 感染後に発症した抗 MOG 抗体関連脳幹脳炎の一例

(1) NHO九州医療センター 臨床教育センター、(2) 同 脳血管・神経内科、(3) 同 脳神経外科

納富茅壽<sup>(1)</sup>、今村裕佑<sup>(2)</sup>、溝口忠孝<sup>(2)</sup>、福田峻一<sup>(3)</sup>、田川直樹<sup>(2)</sup>、森興太<sup>(2)</sup>、桑城貴弘<sup>(2)</sup>、溝口昌弘<sup>(3)</sup>、杉森宏<sup>(2)</sup>、岡田靖<sup>(2)</sup>

A-4. HTLV1 キャリアに合併した抗 AQP4 抗体陽性の一例

(1) 長崎大学病院 脳神経内科、(2) 同 脳神経外科、(3) 同 原研内科、(4) 同 原研病理、

(5) 久留米大 第二病理部

野口智聡<sup>(1)</sup>、古田可奈子<sup>(1)</sup>、吉村俊佑<sup>(1)</sup>、吉田光一<sup>(2)</sup>、加藤丈晴<sup>(3)</sup>、上木望<sup>(4)</sup>、三好寛明<sup>(5)</sup>、松尾孝之<sup>(2)</sup>、辻野彰<sup>(1)</sup>

A-5. パーキンソニズムを呈し、画像上多系統萎縮症様の両側被殻外側萎縮を認めた浸透圧性脱髄症候群（ODS）の一例

小倉記念病院脳神経内科

稲森有貴子、松吉彩乃、中澤祐介、白石渉

セッション2 感染症

9:18-9:50

座長：杉山崇史（宮崎大学）

A-6. 血管形成術を行った水痘帯状疱疹ウイルス血管症の1例

(1) 済生会熊本病院脳神経内科、(2) 熊本大学脳神経内科学

神宮隆臣<sup>(1)</sup>、頼高多久也<sup>(1)</sup>、池田知聡<sup>(1)</sup>、長尾洋一郎<sup>(1)</sup>、永沼雅基<sup>(1)</sup>、稲富雄一郎<sup>(1)</sup>、橋本洋一郎<sup>(1)</sup>、米原敏郎<sup>(1)</sup>、植田光晴<sup>(2)</sup>

#### A-7. インフルエンザ脳症が疑われた成人男性の1例

福岡市民病院 脳神経内科

柴田憲一、向井達也、中垣英明、長野祐久

#### A-8. Salmonella enteritidis による重症髄膜脳炎の1剖検例

鹿児島市立病院 脳神経内科

竹歳卓人、牧美充、徳浦大樹、河合りら、吉元裕亮、石川文、平嶺敬人、吉田崇志、重島裕也、  
宮下史生、渡邊修

#### A-9. Enterovirus 中枢持続感染で小脳脳幹症状を呈した成人男性の一例

福岡大学 脳神経内科

阿座上絢、立石雄嗣、木村優子、三嶋崇靖、坪井義夫

### セッション3

### 遺伝・変性

9:54-10:50

座長：樋口雄二郎（鹿児島大学）

#### A-10. MIBG 心筋シンチグラフィが正常であった同一家系の Perry 症候群の二症例

大勝病院 脳神経内科

武義人、西郷隆二、荒田仁、有村公良、大勝秀樹

#### A-11. 諸検査で異常を認めず診断に難渋した M232R 変異の遺伝性 Creutzfeld-Jakob 病の1例

久留米大学医学部 内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門

田中芳子、磯貝将成、古賀多門、入江研一、森慎一郎、立石貴久、谷脇考恭

#### A-12. 非典型的な臨床像を呈した神経核内封入体病の一例

(1) 産業医科大学 脳神経内科、(2) 横浜市立大学 遺伝学教室

山城正喬<sup>(1)</sup>、先成祐介<sup>(1)</sup>、橋本智代<sup>(1)</sup>、大成圭子<sup>(1)</sup>、宮武聡子<sup>(2)</sup>、輿水江里子<sup>(2)</sup>、松本直通<sup>(2)</sup>、  
足立弘明<sup>(1)</sup>、岡田和将<sup>(1)</sup>

#### A-13. シャルコー・マリー・トゥース病との鑑別を要した ARSACS の一例

(1) 熊本大学 脳神経内科、(2) 鹿児島大学 脳神経内科

吉良夏子<sup>(1)</sup>、野村隼也<sup>(1)</sup>、橋口昭大<sup>(2)</sup>、村上慶高<sup>(1)</sup>、池ノ下侑<sup>(1)</sup>、松原崇一朗<sup>(1)</sup>、高嶋博<sup>(2)</sup>、植田光晴<sup>(1)</sup>

#### A-14. 沖縄型神経原性筋萎縮症 (HMSN-P) の1家系：再考

(1) 聖マリア病院研修医、(2) 聖マリア病院神経内科、(3) 参議院議員、(4) 聖マリア病院外科

海野青藍<sup>(1)</sup>、斉藤千愛<sup>(1)</sup>、庄司紘史<sup>(2)</sup>、秋野公造<sup>(3)</sup>、谷口雅彦<sup>(4)</sup>

## A-15. MCT サインから診断に至った CADASIL の 1 例

鹿児島大脳神経内科

青山真祐奈、平方翔太、堂園美香、武井潤、永田龍世、樋口雄二郎、崎山佑介、高嶋博

## A-16. 球脊髄性筋萎縮症（SBMA）の女性ヘテロ保因者が逃避性歩行を呈した一例

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 脳神経内科

福山芽祝、照屋翔二郎、山城貴之、仲地耕、神里尚美

## 合同セッション①

## 脳血管障害

11:00-11:50

座長：立石洋平（長崎大学）・植川 顕（熊本大学）

### 合同-1. 両側主幹動脈閉塞に対する機械的血栓除去術が奏功した 1 例

熊本赤十字病院脳神経内科

松尾淳一、波止聡司、川本佳右、黒木健至、林広隆、寺崎修司

### 合同-2. Carotid Web による脳梗塞を発症した 1 例

独立行政法人 国立病院機構 鹿児島医療センター 脳・血管内科

山中菜央、濱田祐樹、野間美織、隈元菜々子、西久保省吾、吉留萌、西萌生、岡田敬史、高口剛、松岡秀樹

### 合同-3. 先天性アンチトロンビン欠損症による脳静脈血栓症が重症化し機械的血栓回収療法で改善を得た一例

(1) 福岡赤十字病院脳神経内科、(2) 福岡赤十字病院脳神経外科、(3) 九州大学病院検査部、

(4) 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学

岡田卓也<sup>(1)</sup>、吉岡努<sup>(2)</sup>、金沢信<sup>(1)</sup>、中島弘淳<sup>(1)</sup>、松本信也<sup>(3)</sup>、堀田多恵子<sup>(3)</sup>、吾郷哲朗<sup>(4)</sup>、緒方利安<sup>(1)</sup>、北山次郎<sup>(1)</sup>

### 合同-4. てんかん重積発作および重篤な視床出血を呈した遺伝性 ATTR アミロイドーシスの一例

(1) 原三信病院脳神経外科、(2) 原三信病院病理診断科

長嶋孝昭<sup>(1)</sup>、庄野禎久<sup>(1)</sup>、河野眞司<sup>(2)</sup>

### 合同-5. 線維筋性異形成を合併していると考えられた若年女性の左 M1 閉塞に対して血栓回収術を行った 1 症例

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター脳神経外科

藤井裕太郎、友寄龍太、下里倫、竹下朝規、長嶺知明

合同-6. 頸部内頸動脈狭窄症に対する頸動脈ステント留置術後に急激な眼圧上昇が生じた3例

宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野

堀之内翔一、田村充、河野朋宏、大田元、竹島秀雄

ランチョンセミナー (1)

12:00-13:00

座長：磯部紀子 (九州大学)

演者 新野正明 (国立病院機構北海道医療センター 脳神経内科)

演題 「ガイドライン2023を活用したMS診療」

共催 第243回 日本神経学会九州地方会

バイオジェン・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー (3)

12:00-13:00

座長：山崎 亮 (九州大学)

演者 王子聡 (埼玉医科大学医学部総合医療センター 脳神経内科)

演題 「ウィフガート®点滴静注の使用経験とヒフデュラ®配合皮下注への期待」

共催 第243回 日本神経学会九州地方会

アルジェニクスジャパン株式会社

合同セッション②

感染症

13:10-14:00

座長：立石貴久 (久留米大学)・山下真治 (宮崎大学)

合同-7. 多発脳病変を呈し脳生検により中枢神経限局のリンパ腫様肉芽腫症 (iCNS-LYG) が疑われた一例

(1) 九州大学 脳神経内科、(2) 同 血液内科、(3) 同 病理診断科

姜裕貴<sup>(1)</sup>、野上健一郎<sup>(1)</sup>、向野隆彦<sup>(1)</sup>、藤井敬之<sup>(1)</sup>、菊繁吉謙<sup>(2)</sup>、岩崎健<sup>(3)</sup>、山崎亮<sup>(1)</sup>、磯部紀子<sup>(1)</sup>

合同-8. 脳および肝膿瘍を発症した Klebsiella 感染症の一例

NHO九州医療センター (1) 脳血管神経内科、(2) 脳神経外科、(3) 感染症内科

尾崎雄一<sup>(1)</sup>、田川直樹<sup>(1)</sup>、今村裕佑<sup>(1)</sup>、金城史彦<sup>(1)</sup>、木村俊介<sup>(1)</sup>、村谷陽平<sup>(1)</sup>、溝口忠孝<sup>(1)</sup>、森興太<sup>(1)</sup>、桑城貴弘<sup>(1)</sup>、後藤克宏<sup>(2)</sup>、溝口昌弘<sup>(2)</sup>、有水遥子<sup>(3)</sup>、長崎洋司<sup>(3)</sup>、杉森宏<sup>(1)</sup>、岡田靖<sup>(1)</sup>

合同-9. 脳室-腹腔シャントの小腸内迷入により発症した細菌性髄膜炎の一例

(1) 川内市医師会立市民病院 脳神経内科、(2) 川内市医師会立市民病院 脳神経外科

川野紘平<sup>(1)</sup>、田邊肇<sup>(1)</sup>、園田理子<sup>(1)</sup>、増田圭亮<sup>(2)</sup>、樋渡貴昭<sup>(2)</sup>

#### 合同-10. 脳腫瘍と鑑別を要した HIV 関連進行性多巣性白質脳症の一例

(1) 佐賀大学医学部 脳神経外科、(2) 佐賀大学医学部 脳神経内科

古賀文崇<sup>(1)</sup>、伊藤寛<sup>(1)</sup>、井上裕香子<sup>(2)</sup>、井手俊宏<sup>(2)</sup>、小池春樹<sup>(2)</sup>、前山元<sup>(1)</sup>、並川裕貴<sup>(1)</sup>、古川隆<sup>(1)</sup>、吉岡史隆<sup>(1)</sup>、緒方敦之<sup>(1)</sup>、中原由紀子<sup>(1)</sup>、増岡淳<sup>(1)</sup>、阿部竜也<sup>(1)</sup>

#### 合同-11. 特徴的な画像所見を示したリステリア脳膿瘍の1例

社会医療法人製鉄記念八幡病院脳卒中・神経センター

外園まりや、山口慎也、佐山徹郎

#### 合同-12. 本態性振戦に対する集束超音波治療術後に残存した振戦に対し DBS を追加したことで症状の改善を認めた一例

福岡大学医学部脳神経外科

吉田博人、田中秀明、森下登史、河野大、吉永進太郎、福本博順、榎本年孝、小林広昌、竹本光一郎、安部洋

### セッション4 末梢神経・筋疾患

14:10-14:58

座長：三隅洋平（熊本大学）

#### A-17. NF155 抗体と LGI4 抗体が二重陽性の超高齢発症自己免疫性ノドパチー (AN)

(1) 国際医療福祉大学 TNRC、(2) 福岡中央病院 脳神経内科、(3) 九州大学 神経内科

吉良潤一<sup>(1)(2)</sup>、張旭<sup>(1)</sup>、緒方英紀<sup>(3)</sup>、田代匠<sup>(3)</sup>、山下謙一郎<sup>(2)</sup>、芹野南美<sup>(3)</sup>、迫田礼子<sup>(2)</sup>、稲水佐江子<sup>(2)</sup>、岩永育貴<sup>(2)</sup>、柳原由記<sup>(2)</sup>、横手顕<sup>(2)</sup>、波呂敬子<sup>(2)</sup>、飛松省三<sup>(2)</sup>、磯部紀子<sup>(3)</sup>、中村優理<sup>(2)</sup>、AMED AN 班

#### A-18. 神経症状発症前に神経伝導検査で異常を検出し得た CANVAS の1例

(1) 宮崎大脳神経内科、(2) 横浜市立大遺伝学

宮本美由貴<sup>(1)</sup>、酒井克也<sup>(1)</sup>、中里祐毅<sup>(1)</sup>、杉山崇史<sup>(1)</sup>、輿水江里子<sup>(2)</sup>、宮武聡子<sup>(2)</sup>、松本直通<sup>(2)</sup>、塩見一剛<sup>(1)</sup>

#### A-19. 眼瞼下垂を欠く複視で発症し、11年後に全身型に移行した若年発症抗 MuSK 抗体陽性重症筋無力症の一例

いまきいれ総合病院 脳神経内科

山下悠亮、小田健太郎、甲斐太、吉村道由

#### A-20. 抗横紋筋抗体陽性の筋炎・心筋炎合併重症筋無力症 (MG) に対するエフガルチギモド治療経験

(1) 藤元総合病院 神経内科、(2) 宮崎大学 呼吸器・膠原病・脳神経内科学

田中啓文<sup>(1)</sup>、大窪隆一<sup>(1)</sup>、末原雅人<sup>(1)</sup>、神田佳樹<sup>(1)</sup>、平方翔太<sup>(1)</sup>、杉山崇史<sup>(2)</sup>、塩見一剛<sup>(2)</sup>

A-21. 多彩な臨床症候を呈したミオチューブラーミオパチー manifesting carrier の1例

(1) 大分大脳神経内科、(2) 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部

竹内陽介<sup>(1)</sup>、増田曜章<sup>(1)</sup>、角華織<sup>(1)</sup>、軸丸美香<sup>(1)</sup>、江浦信之<sup>(2)</sup>、西野 一三<sup>(2)</sup>、木村成志<sup>(1)</sup>、松原悦朗<sup>(1)</sup>

A-22. 拘束性換気障害が初発症状であった抗ミトコンドリア M2 抗体陽性筋炎の1例

(1) 琉球大学病院 第三内科、(2) 国立精神・神経医療研究センター

饒波涼子<sup>(1)</sup>、宮城朋<sup>(1)</sup>、渡慶次裕也<sup>(1)</sup>、山田義貴<sup>(1)</sup>、波平幸裕<sup>(1)</sup>、國場和仁<sup>(1)</sup>、金城よしの<sup>(1)</sup>、石原聡<sup>(1)</sup>、  
崎間洋邦<sup>(1)</sup>、西野一三<sup>(2)</sup>、楠瀬賢也<sup>(1)</sup>

セッション5

脳炎・髄膜炎

15:02-15:42

座長：木村成志（大分大学）

A-23. 一過性脳虚血発作様症状で発症したリウマチ性髄膜炎の1例

国立病院機構長崎医療センター 脳神経内科

荒田昌彦、忽那史也、足利裕也、佐藤和明、徳田昌紘、岩永洋

A-24. 伝染性単核球症や流行性耳下腺炎との鑑別を要したシェーグレン症候群に伴う急性脳炎の1例

鹿児島市医師会病院

内村謙吾、中川広人、中江健太郎、徳永紘康、能勢裕久、園田健

A-25. 著明な脳浮腫を呈した脳アミロイドアンギオパチー関連炎症の1例

(1) 済生会福岡総合病院 臨床教育部、(2) 同 脳神経内科、(3) 同 病理診断科、

(4) 久留米大病理診断科

安河内駿<sup>(1)</sup>、原佑碩<sup>(2)</sup>、近藤大祐<sup>(2)</sup>、園田和隆<sup>(2)</sup>、田中正人<sup>(2)</sup>、加藤誠也<sup>(3)</sup>、古田拓也<sup>(4)</sup>、川尻真和<sup>(2)</sup>

A-26. 肥厚性硬膜炎を合併し、ミトコンドリア病との鑑別を要したクリオピリン関連周期熱症候群の1例

(1) 鹿児島大学 脳神経内科、(2) 同 病理学

大藪祐輝<sup>(1)</sup>、森拓馬<sup>(1)</sup>、中村香織<sup>(1)</sup>、野口悠<sup>(1)</sup>、兒玉憲人<sup>(1)</sup>、永田龍世<sup>(1)</sup>、樋口雄二郎<sup>(1)</sup>、田畑和宏<sup>(2)</sup>、  
谷本昭英<sup>(2)</sup>、高嶋博<sup>(1)</sup>

A-27. Duropathy に伴う脳表へモジデリン沈着症の1例

今村総合病院脳神経内科

久保純平

セッション6

代謝性・その他

15:45-16:33

座長：石原 聡（琉球大学）

A-28. 小脳性運動失調で発症し、淡蒼球萎縮を呈した胃混合癌による傍腫瘍性神経症候群の1例

(1) 佐賀大学医学部内科学講座 脳神経内科、(2) 同 内科学講座消化器内科、  
(3) 同 一般・消化器外科、(4) 同 放射線科、(5) 同 附属病院病理部・病理診断科  
津村圭亮<sup>(1)</sup>、鈴山耕平<sup>(1)</sup>、行元崇浩<sup>(2)</sup>、吉川正章<sup>(1)</sup>、井手俊宏<sup>(1)</sup>、松藤祥平<sup>(3)</sup>、西原正志<sup>(4)</sup>、甲斐敬太<sup>(5)</sup>、  
小池春樹<sup>(1)</sup>

A-29. 門脈－体循環シャント (PV) を認めパーキンソニズムと高マンガン (Mn) 血症を呈した一例

九州大学病院脳神経内科  
寺師綾子、田中栄蔵、向野隆彦、松瀬大、山崎亮、磯部紀子

A-30. 臨床経過よりメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患による脳症と診断した1例

(1) 飯塚病院 脳神経内科、(2) 同 病理科  
吉村基<sup>(1)</sup>、倉沢亮<sup>(1)</sup>、進村光規<sup>(1)</sup>、篠田絃司<sup>(1)</sup>、園田啓太<sup>(1)</sup>、平木由佳<sup>(2)</sup>、大石善丈<sup>(2)</sup>、高瀬敬一郎<sup>(1)</sup>

A-31. ニロチニブ内服中に進行性の多発脳動脈狭窄をきたし、ダサチニブへの変更で安定化した1例

(1) 福岡東医療センター 脳神経内科、(2) 同 血液内科  
荒木雅子<sup>(1)</sup>、芝原友也<sup>(1)</sup>、山中圭<sup>(1)</sup>、松岡幹晃<sup>(1)</sup>、立花正輝<sup>(1)</sup>、坂本佳治<sup>(2)</sup>、黒岩三佳<sup>(2)</sup>、黒田淳哉<sup>(1)</sup>、  
中根博<sup>(1)</sup>

A-32. 胸部血管カテーテル治療後の遅発性脳異物肉芽腫が疑われた1例

熊本大学 脳神経内科  
津川貴博、水谷浩徳、中島誠、松原崇一郎、進藤誠悟、植田光晴

A-33. 亜急性の意識障害で発症し多発性中枢神経病変を認めた黄色肉芽腫症の成人例

(1) NHO 沖縄病院脳神経内科、(2) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター脳神経外科、  
(3) 同 病理科  
安富大悟<sup>(1)</sup>、渡嘉敷崇<sup>(1)</sup>、玉城浩平<sup>(1)</sup>、大屋祐一郎<sup>(1)</sup>、妹尾洋<sup>(1)</sup>、藤原喜寿<sup>(1)</sup>、藤崎なつみ<sup>(1)</sup>、  
城戸美和子<sup>(1)</sup>、諏訪園秀吾<sup>(1)</sup>、藤井裕太郎<sup>(2)</sup>、仲里巖<sup>(3)</sup>

閉会の辞 16:35-16:40 磯部 紀子

世話人会 (九州大学百年講堂 中ホール 3)

16:45-17:15



プログラム  
(脳神経外科学会)

セッション1 脳腫瘍 (1) 8:25-9:15

座長：坂田清彦 (久留米大学)

コメンテーター：長坂昌平 (産業医科大学)

B-1. 蝶形骨縁髄膜腫に合併した Carotid-falciform optic neuropathy の一例

九州大学大学院医学研究院脳神経外科

大久保秀祐、藤岡寛、尾辻亮介、三月田祐平、空閑太亮、中溝玲、吉本幸司

B-2. 陽子線治療を行った再発 rhabdoid meningioma の一例

長崎大学医学部脳神経外科

後藤純寛、日宇健、白濱麻衣、中村光流、小川由夏、塩崎絵理、近松元気、松尾彩香、岡村宗晃、馬場士郎、氏福健太、諸藤陽一、吉田光一、松尾孝之

B-3. 眼球運動障害で発症した非下垂体卒中性の非機能性 PitNET の一例

小倉記念病院脳卒中センター 脳神経外科

宮田武、波多野武人、小倉健紀、阿河祐二、塩見晃司、安藤徳紀、三谷幸輝

B-4. 下垂体茎-視交叉原発腺様嚢胞癌の一例

(1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科、

(2) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科／鹿児島大学病院下垂体疾患センター、

(3) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 病理学

木佐貫彩<sup>(1)</sup>、藤尾信吾<sup>(2)</sup>、牧野隆太郎<sup>(2)</sup>、菅田淳<sup>(2)</sup>、比嘉那優大<sup>(1)</sup>、霧島茉莉<sup>(3)</sup>、花谷亮典<sup>(1)</sup>

B-5. テモゾロミドが著効した下垂体癌の一例

佐賀県医療センター好生館脳神経外科

檜垣梨央、柳田暢志、井戸啓介、松本健一

B-6. ACTH 産生下垂体腫瘍術後24年後に Aggressive pituitary tumor として再発した一例

(1) NHO嬉野医療センター 脳神経外科、(2) NHO嬉野医療センター 病理診断科、

(3) 久留米大学医学部病理学講座

宮崎貴大<sup>(1)</sup>、土持諒輔<sup>(1)</sup>、宮園正之<sup>(1)</sup>、田場充<sup>(2)</sup>、内藤慎二<sup>(2)</sup>、森坪麻友子<sup>(3)</sup>、古田拓也<sup>(3)</sup>

セッション2 脳腫瘍 (2) 9:20-10:10

座長：中原由紀子 (佐賀大学)

コメンテーター：小林広昌 (福岡大学)

### B-7. 孤発性の subependymal giant cell astrocytoma の 1 例

(1) 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野、(2) 宮崎大学医学部附属病院 病理診断科  
日高正登<sup>(1)</sup>、山下真治<sup>(1)</sup>、松元文孝<sup>(1)</sup>、大栗伸行<sup>(2)</sup>、佐藤勇一郎<sup>(2)</sup>、竹島秀雄<sup>(1)</sup>

### B-8. 胃小細胞神経内分泌癌の脳転移を呈した 1 例

(1) 熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座、(2) 熊本大学病院病理診断科、  
(3) 熊本大学大学院生命科学研究部放射線治療医学講座、  
(4) 熊本大学大学院生命科学研究部放射線診断学講座  
堀遼太<sup>(1)</sup>、篠島直樹<sup>(1)</sup>、藤本健二<sup>(1)</sup>、植川顕<sup>(1)</sup>、吉井大貴<sup>(2)</sup>、川上史<sup>(2)</sup>、三上芳喜<sup>(2)</sup>、福川喜之<sup>(3)</sup>、  
大屋夏生<sup>(3)</sup>、上谷浩之<sup>(4)</sup>、平井俊範<sup>(4)</sup>、武笠晃丈<sup>(1)</sup>

### B-9. 転移性頭蓋骨腫瘍に対してガンマナイフと手術を行った一例

(1) 永富脳神経外科病院、(2) 大分大学医学部附属病院 放射線科  
井上琢哉<sup>(1)</sup>、松本陽<sup>(2)</sup>、湧川佳幸<sup>(1)</sup>、永富裕文<sup>(1)</sup>

### B-10. 血管内大細胞型Bリンパ腫が第四脳室底に腫瘤形成し再発した一例

(1) 久留米大学医学部脳神経外科、(2) 久留米大学医学部病理学講座、(3) 新古賀病院 病理診断科  
酒井美江<sup>(1)</sup>、吉武秀展<sup>(1)</sup>、森坪麻友子<sup>(2)</sup>、古田拓也<sup>(2)</sup>、西田直代<sup>(3)</sup>、橋本彩<sup>(1)</sup>、音琴哲也<sup>(1)</sup>、坂田清彦<sup>(1)</sup>、  
中村英夫<sup>(1)</sup>、森岡基浩<sup>(1)</sup>

### B-11. 転移性脳腫瘍治療後に続発性脳動脈瘤破裂を来した 1 例

九州大学大学院医学研究院脳神経外科  
溝邊真由、高岸創、黒木亮太、有村公一、空閑太亮、中溝玲、吉本幸司

### B-12. Cytarabine 療法が奏功した、鞍結節髄膜腫との鑑別を要した頭蓋内 Rosai-Dorfman disease の 1 例

琉球大学医学部脳神経外科  
首里雄天、外間洋平、國仲倫史、喜舎場一貴、小林繁貴、長嶺英樹、菅原健一、石内勝吾

## セッション 3 外傷・感染性疾患・その他 10:15-10:55

座長：藤尾信吾（鹿児島大学）  
コメンテーター：松元文孝（宮崎大学）

### B-13. 中硬膜動脈塞栓術後に縮小した器質化慢性硬膜血腫の一例

(1) 地方独立行政法人大牟田市立病院 脳神経外科、(2) 久留米大学医学部脳神経外科  
山川曜<sup>(1)</sup>、大津裕介<sup>(1)</sup>、江藤朋子<sup>(1)</sup>、山下伸<sup>(1)</sup>、倉本晃一<sup>(1)</sup>、森岡基浩<sup>(2)</sup>



|                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 理事会（九州大学百年講堂 2階会議室 1） | 11:50-12:50 |
| 授賞式（九州大学百年講堂 中ホール）    | 13:00-13:05 |

|         |           |             |
|---------|-----------|-------------|
| セッション 5 | 合同セッション 2 | 13:10-14:00 |
|---------|-----------|-------------|

（神経学会プログラムを参照ください）

|         |               |             |
|---------|---------------|-------------|
| セッション 6 | 脊髄脊椎／機能的脳神経外科 | 14:05-14:45 |
|---------|---------------|-------------|

座長：齋藤 健（産業医科大学）  
コメンテーター：泊 裕美（鹿児島大学）

#### B-18. Hybrid OR での Cone beam CT を用いた L-P shunt 術の 1 例

福岡大学医学部脳神経外科

松石宗斉、河野大、吉永進太郎、田中秀明、福本博順、榎本年孝、小林広昌、森下登史、竹本光一郎、安部洋

#### B-19. 環椎後弓欠損 Currarino 分類 typeC を伴う頸髄腫瘍の 1 例

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科

横田航士、井上恵理、永野祐志、菅田淳、山畑仁志、花谷亮典

#### B-20. 神経鞘腫との鑑別が困難であった腎細胞癌が遅発性に頸椎神経根に転移した稀な一例

(1) 医療法人正島脳神経外科、(2) 久留米大学医学部病理学講座、(3) 静便堂白石共立病院脳神経外科  
正島弘隆<sup>(1)</sup>、正島和人<sup>(1)</sup>、正島隆夫<sup>(1)</sup>、古田拓也<sup>(2)</sup>、本田英一郎<sup>(3)</sup>

#### B-21. 総排泄腔外反症に合併した double spinal lipomas の 1 例

(1) 福岡市立病院機構福岡市立こども病院 脳神経外科、(2) 蜂須賀病院 脳神経外科  
黒木愛<sup>(1)</sup>、村上信哉<sup>(1)</sup>、森岡隆人<sup>(2)</sup>

#### B-22. 腫瘍性病変による側頭葉てんかん：単一施設での治療経験

(1) 長崎医療センター脳神経外科、(2) 長崎大学医学部脳神経外科、  
(3) 長崎川棚医療センター・西九州脳神経センター 脳神経外科、(4) 西諫早病院 てんかんセンター  
内田大貴<sup>(1)</sup>、小野智憲<sup>(1)</sup>、定方英作<sup>(1)</sup>、吉田道春<sup>(1)</sup>、原口渉<sup>(1)</sup>、案田岳夫<sup>(1)</sup>、馬場史郎<sup>(2)</sup>、戸田啓介<sup>(3)</sup>、  
馬場啓至<sup>(4)</sup>

|         |         |             |
|---------|---------|-------------|
| セッション 7 | 脳血管障害 1 | 14:50-15:40 |
|---------|---------|-------------|

座長：日宇 健（長崎大学）  
コメンテーター：岳元裕臣（熊本大学）

### B-23. 内頸動脈直接穿刺を行いアクセス困難な AIS に対して経皮的脳血栓回収を施行した症例

(1) 福岡市民病院脳神経外科、(2) 同 脳神経内科、(3) 福岡大学医学部脳神経外科

日下部太朗<sup>(1)</sup>、福島浩<sup>(1)</sup>、向井達也<sup>(2)</sup>、中垣英明<sup>(2)</sup>、吉野慎一郎<sup>(1)</sup>、平川勝之<sup>(1)</sup>、安部洋<sup>(3)</sup>

### B-24. 再閉塞を繰り返す頭蓋内内頸動脈狭窄症に対して Neuroform Atlas を留置した一例

(1) 福岡青洲会病院脳神経外科、(2) 福岡大学医学部脳神経外科

岡雄太<sup>(1)</sup>、手賀丈太<sup>(1)</sup>、堀尾欣伸<sup>(1)</sup>、竹本光一郎<sup>(2)</sup>、安部洋<sup>(2)</sup>

### B-25. 超急性期両側同時尾状核部出血の 1 例

(1) 久留米大学高度救命救急センター、(2) 聖マリア病院脳神経外科、(3) 久留米大学医学部脳神経外科

渡邊竜馬<sup>(1)</sup>、菊池仁<sup>(1)</sup>、星野誠<sup>(2)</sup>、高橋新司<sup>(1)</sup>、酒井美江<sup>(3)</sup>、橋本彩<sup>(1)</sup>、折戸公彦<sup>(3)</sup>、廣畑優<sup>(3)</sup>、森岡基浩<sup>(3)</sup>

### B-26. 転移性心臓腫瘍による脳塞栓症が疑われた一例

(1) 福岡大学病院救命救急センター、(2) 福岡大学医学部脳神経外科

宮川健<sup>(1)</sup>、田尻崇人<sup>(1)</sup>、河野大<sup>(2)</sup>、吉永進太郎<sup>(2)</sup>、田中秀明<sup>(2)</sup>、福本博順<sup>(2)</sup>、榎本年孝<sup>(2)</sup>、小林広昌<sup>(2)</sup>、竹本光一郎<sup>(2)</sup>、岩朝光利<sup>(1)</sup>、石倉宏恭<sup>(1)</sup>、安部洋<sup>(2)</sup>

### B-27. 出血を来した Down 症候群に合併した RNF213 遺伝子変異を有するもやもや症候群の 1 例

熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座

亀野功揮、賀耒泰之、宮崎愛里、岳元裕臣、武笠晃丈

### B-28. クラゾセンタン投与終了後も血管攣縮が遷延した 2 症例

(株) 麻生飯塚病院脳神経外科

要名本あゆみ、甲斐康稔、井上大輔、迎伸孝、安部啓介、山田哲久、名取良弘

## セッション 8

## 脳血管障害 2

15:45-16:35

座長：阿南光洋（大分大学）

コメンテーター：黒木亮太（九州大学）

### B-29. 再発後下小脳動脈分岐部動脈瘤に対し逆行性に Neuroform Atlas を展開しコイル塞栓を行った 1 例

(1) 産業医科大学 脳神経外科、(2) 産業医科大学 脳卒中血管内科

岸本拓也<sup>(1)</sup>、浦勇春佳<sup>(2)</sup>、黒川暢<sup>(2)</sup>、梅村武部<sup>(1)</sup>、山本淳考<sup>(1)</sup>、田中優子<sup>(2)</sup>

B-30. 大型内頸動脈に対しバルンガイドカテーテルを用いて suction & decompression 法を行った 1 例

(1) 池友会福岡和白病院臨床研修医、(2) 同 脳神経外科

原田希望<sup>(1)</sup>、梶原真仁<sup>(2)</sup>、清澤龍一郎<sup>(2)</sup>、荒川溪<sup>(2)</sup>、三本木千尋<sup>(2)</sup>、原田啓<sup>(2)</sup>、福山幸三<sup>(2)</sup>

B-31. Flow diverter 留置術後に遅発性脳動脈瘤破裂により生じた内頸動脈海綿静脈洞瘻に対して経静脈的コイル塞栓術を施行した 1 例

那覇市立病院脳神経外科

新崎盛敏、豊見山直樹、與那覇博克、我那覇司、松山美智子、根路銘千尋、下地亮、新屋貴裕、高原健太、友利壮志、宮里清隆、喜舎場一貴

B-32. Flow diverter 留置後短期間で生じた de novo 動脈瘤の一例

長崎大学医学部脳神経外科

中村光流、諸藤陽一、白濱麻衣、後藤純寛、松尾彩香、塩崎絵理、近松元気、小川由夏、岡村宗晃、馬場史郎、氏福健太、諸藤陽一、日宇健、吉田光一、松尾孝之

B-33. 巨大左内頸動脈瘤に対しフローダーバーターステント留置術を施行した一例

(1) 産業医科大学 脳神経外科、(2) 同 脳卒中血管内科、(3) 昭和大学 横浜市北部病院脳神経外科  
浦勇春佳<sup>(1)</sup>、佐藤甲一朗<sup>(2)</sup>、黒川暢<sup>(2)</sup>、田中優子<sup>(2)</sup>、切石唯菜<sup>(1)</sup>、梅村武部<sup>(1)</sup>、寺田友昭<sup>(3)</sup>

B-34. 増大傾向を認めた血栓化巨大動脈瘤の一例

新古賀病院脳卒中脳神経センター脳神経外科

香野草太、春山裕典、亀田勝治、石堂克哉、一ツ松勤

セッション 9

脳血管障害 3

16:40-17:30

座長：竹本光一郎（福岡大学）

コメンテーター：折戸公彦（久留米大学）

B-35. 頭蓋内内頸動脈狭窄の急性閉塞に対して薬剤溶出性冠動脈ステントを使用した一例

(1) 佐世保中央病院 脳神経外科、(2) 福岡大学医学部脳神経外科

後藤夏奈<sup>(1)</sup>、平尾宜子<sup>(1)</sup>、高原正樹<sup>(1)</sup>、武村有祐<sup>(1)</sup>、竹本光一郎<sup>(2)</sup>、安部洋<sup>(2)</sup>

B-36. 内頸動脈-後交通動脈分岐部未破裂脳動脈瘤に滑車神経麻痺を合併した 1 例

(1) 社会医療法人財団白十字会白十字病院脳神経外科、(2) 福岡大学医学部脳神経外科

神崎由起<sup>(1)</sup>、福田健治<sup>(1)</sup>、藤原史明<sup>(1)</sup>、高木友博<sup>(1)</sup>、林修司<sup>(1)</sup>、井上亨<sup>(1)</sup>、安部洋<sup>(2)</sup>

B-37. 対側椎骨動脈からの逆行性血流により増大をきたした PICA involved type の非出血性解離性椎骨動脈瘤の 1 手術症例

九州医療センター脳神経外科

福田峻一、西村中、後藤克宏、雨宮健生、溝口昌弘

B-38. 頸動脈直接穿刺法で親血管閉塞を行った出血発症前大脳動脈解離の一例

長崎みなとメディカルセンター脳神経外科

松永裕希、白川靖、陶山一彦

B-39. シヤント周囲の解剖学的理解に血管撮影装置の CT like image が有用だった ACC 部 dAVF の一例

(1) 福岡大学筑紫病院 脳神経外科、(2) 同 脳神経内科、(3) 同 脳卒中センター

神崎貴充<sup>(1)</sup>、井上律郎<sup>(1)</sup>、石井絢子<sup>(2)</sup>、竹下翔<sup>(2)</sup>、花田迅貫<sup>(3)</sup>、坂本王哉<sup>(1)</sup>、新居浩平<sup>(3)</sup>、津川潤<sup>(2)</sup>、東登志夫<sup>(1)</sup>

B-40. 脳動静脈奇形を合併した出血発症の前頭蓋窩硬膜動静脈瘻の一例

(1) 国立病院機構九州医療センター 脳血管内治療科、(2) 同 脳神経外科

奥田智裕<sup>(1)</sup>、東英司<sup>(1)</sup>、西村中<sup>(2)</sup>、溝口昌弘<sup>(2)</sup>、徳永聡<sup>(1)</sup>

閉会の辞 17:35- 吉本 幸司